

現代の経済

第5回

課題(1) RESAS

目次

- はじめに
- 課題（RESASで地域を調べる）
 - ✓ 位置図
 - ✓ I－1 人口マップ（人口構成）
 - ✓ I－2～4 人口マップ（人口増減）
 - ✓ II 産業構造マップ（全産業の構造）
 - ✓ III 調べた市の特徴
- 【注意点】 減点の対象（例）
- 【予告】 第9回 プレゼンテーション

はじめに

今回は、パワーポイント課題(1回目)について説明します。

1回目の課題は、RESAS(地域経済分析システム)を用いて、ある地域における人口の動きや産業の構造を調べていただきます。

どの地域(市)を対象とするのかは、抽選で決めます。

課題 (RESASで地域を調べる)

- 調べる地域(市)を別表から授業中に抽選で1つ選ぶ
- RESASで人口の動きや産業構造を調べる
(調べる内容は以下で説明)
- Moodle内にあるパワポファイル(ひな形)を使用
ファイル名「【RESAS課題】通し番号・氏名.pptx」
→ 通し番号と自分の名前に書き換える
スライドの青字部分を書き換える(図の挿入など)
- 提出はMoodleで(Keynote形式は不可、PDF形式は可)
- 締切は11月15日(金)10:40
- 第9回に数名(当日指名)が発表

通し 番号	自治体名
1	千葉県 市原市
2	三重県 四日市市
3	岡山県 倉敷市
4	和歌山県 有田市
5	群馬県 太田市
6	静岡県 浜松市
7	静岡県 磐田市
8	茨城県 鹿嶋市
9	島根県 安来市
10	愛知県 東海市
11	茨城県 日立市

通し 番号	自治体名
12	石川県 小松市
13	広島県 呉市
14	静岡県 富士市
15	新潟県 燕市
16	福井県 鯖江市
17	岐阜県 関市
18	愛知県 瀬戸市
19	愛知県 常滑市
20	愛媛県 今治市
21	大阪府 東大阪市
22	兵庫県 尼崎市

【参考】 図をパワポにコピー＆ペーストする方法

プレゼンテーション1 - PowerPoint

サインイン

ファイル ホーム **挿入** デザイン 画面切り替え アニメーション スライドショー 校閲 表示 ヘルプ JUST PDF 3 操作アシスト 共有

新しいスライド スライド

表 表

画像

オンライン画像

スクリーンショット

SmartArt

グラフ

アドイン

動作

コメント

テキストボックス

ヘッダーとフッター

ワードアート

記号と特殊文字

メディア

使用できるウィンドウ

1

画面の領域(C)

画面の領域
画面の一部のスナップショットを作成してドキュメントに追加します。

タイトルを入力

サブタイトルを入力

「挿入」-「スクリーンショット」-「画面の領域」の順にクリック

スライド 1/1 日本語

≡ ノート コメント

63%

位置図



RESAS「<https://resas.go.jp>」を開く

The image shows the RESAS website interface with various elements highlighted by red boxes and numbered callouts:

- ① ログマーク (Logo Mark)
- ② マップ選択メニュー (Map Selection Menu)
- ③ ヘルプ (Help)
- ④ ダッシュボード (Dashboard)
- ⑤ サマリー (Summary)
- ⑥ 問合せ (Inquiry)
- ⑦ データ分析支援 (Data Analysis Support)
- ⑧ ニュース・イベント (News・Event)
- ⑨ 関連サービス (Related Services)
- ⑩ RESAS とは・関連情報 (What is RESAS・Related Information)

The website features a dark background with the RESAS logo in the center, which is composed of colorful geometric shapes. Below the logo, the text "Regional Economy Society Analyzing System" is displayed. At the bottom, there are three red-bordered boxes containing the text "ニュース・イベント", "関連サービス", and "RESASとは・関連情報".

I-1 人口マップ(人口構成)

- マップ選択メニューから「人口マップ」→「人口構成」を選択する
- 表示する地域を指定する
「市区町村単位」にチェック
- 調べる市を指定する
- 上のメニューの「人口推移」をクリック
⇒ 人口構成の図が表示される

(注意) スマホやタブレットの場合、横向けに持たないと「検索条件」を指定することができない(以下、同様)

I-1 人口構成

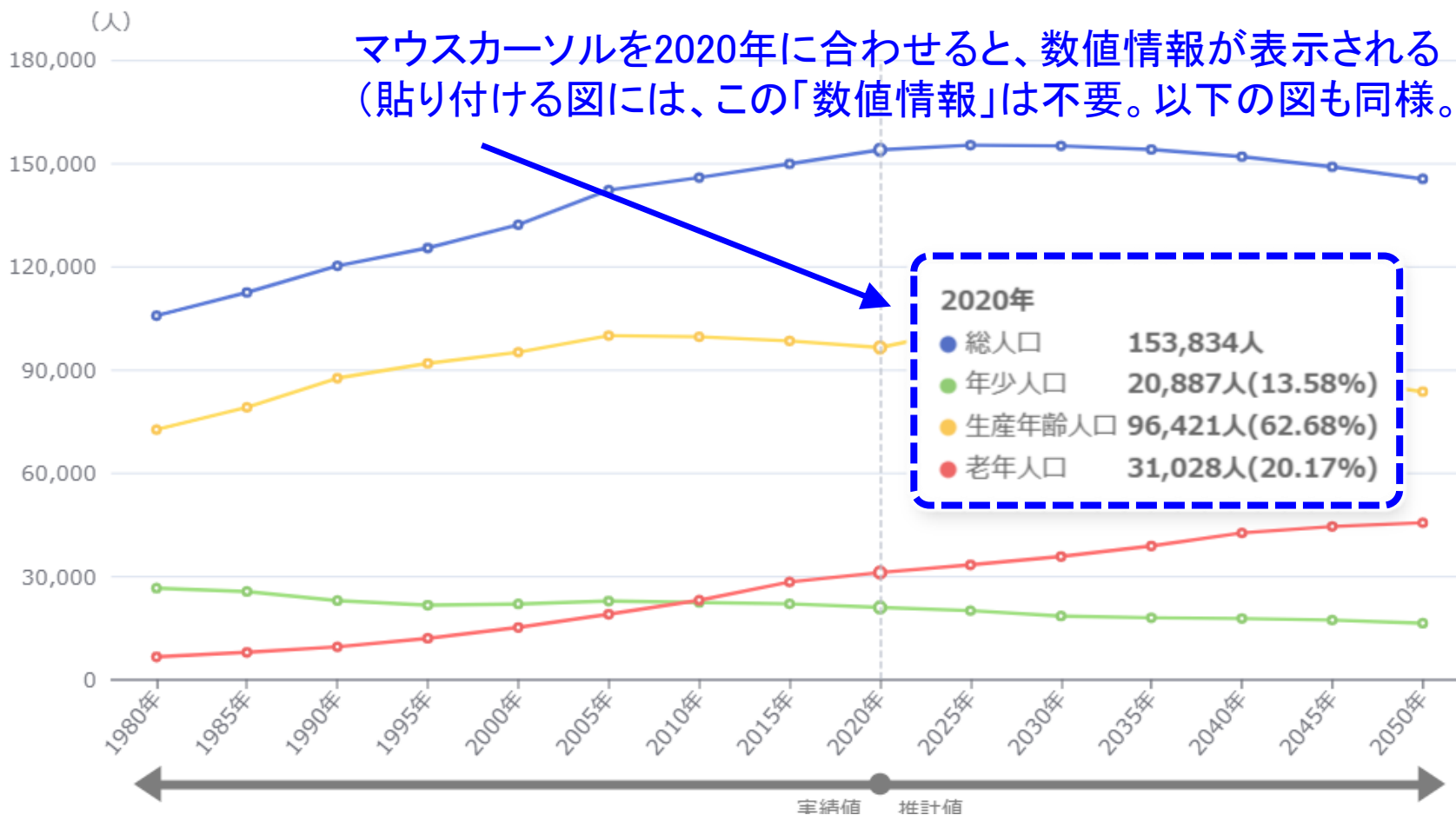
- この図をパワーポイントに貼り付ける(刈谷市の例)

【データ】国勢調査

人口推移グラフ

愛知県刈谷市

● 総人口 ● 年少人口 ● 生産年齢人口 ● 老年人口



年齢3区分別人口

- 図の2020年にマウスカーソルを合わせると、年齢3区分別人口と構成比が表示されるので、それを見て表の空欄(破線枠内)を埋める(全国構成比は入力済み)

↓ 刈谷市の例(構成比は少数第1位まで[第2位を四捨五入])

2020年	人口(人)	構成比(%)	全国構成比(%)
全体	153,834		
年少人口 (15歳未満)	20,887	13.6	11.9
生産年齢人口 (15歳～64歳)	96,421	62.7	59.5
老年人口 (65歳以上)	31,028	20.2	28.6

※3区分の合計が「全体」と一致しない場合がある(「年齢不詳者」がいるため)。
全国値と比較する場合、注意が必要(特に、全国よりも構成比率が低い場合)。

I-2~4 人口マップ(人口増減)

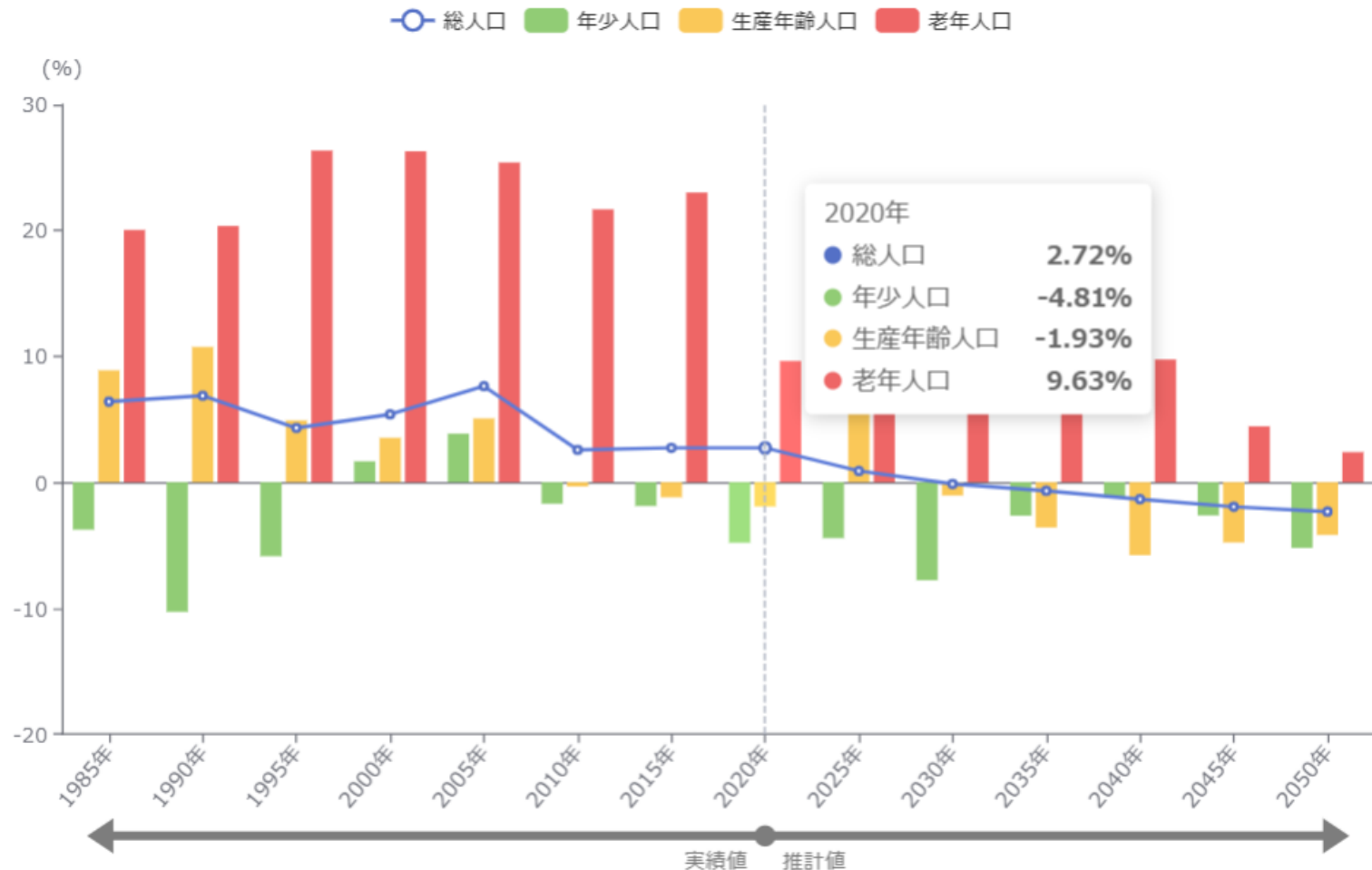
- 左の「分析メニューの選択」から(または、トップページの「マップ選択メニュー」から)「人口マップ」→「人口増減」を選択する
- 表示する地域を指定する
「市区町村単位」にチェック
- 調べる市を指定する
- 上のメニューの「グラフ」をクリック
⇒ 人口増減の図が表示される
- 次の3つの図をパワーポイントに貼り付ける
※4枚目の図「自然増減・社会増減の推移(散布図)」は不要

I-2 人口増減

- この図をパワーポイントに貼り付ける(刈谷市の例)

【データ】国勢調査

人口増減
愛知県刈谷市



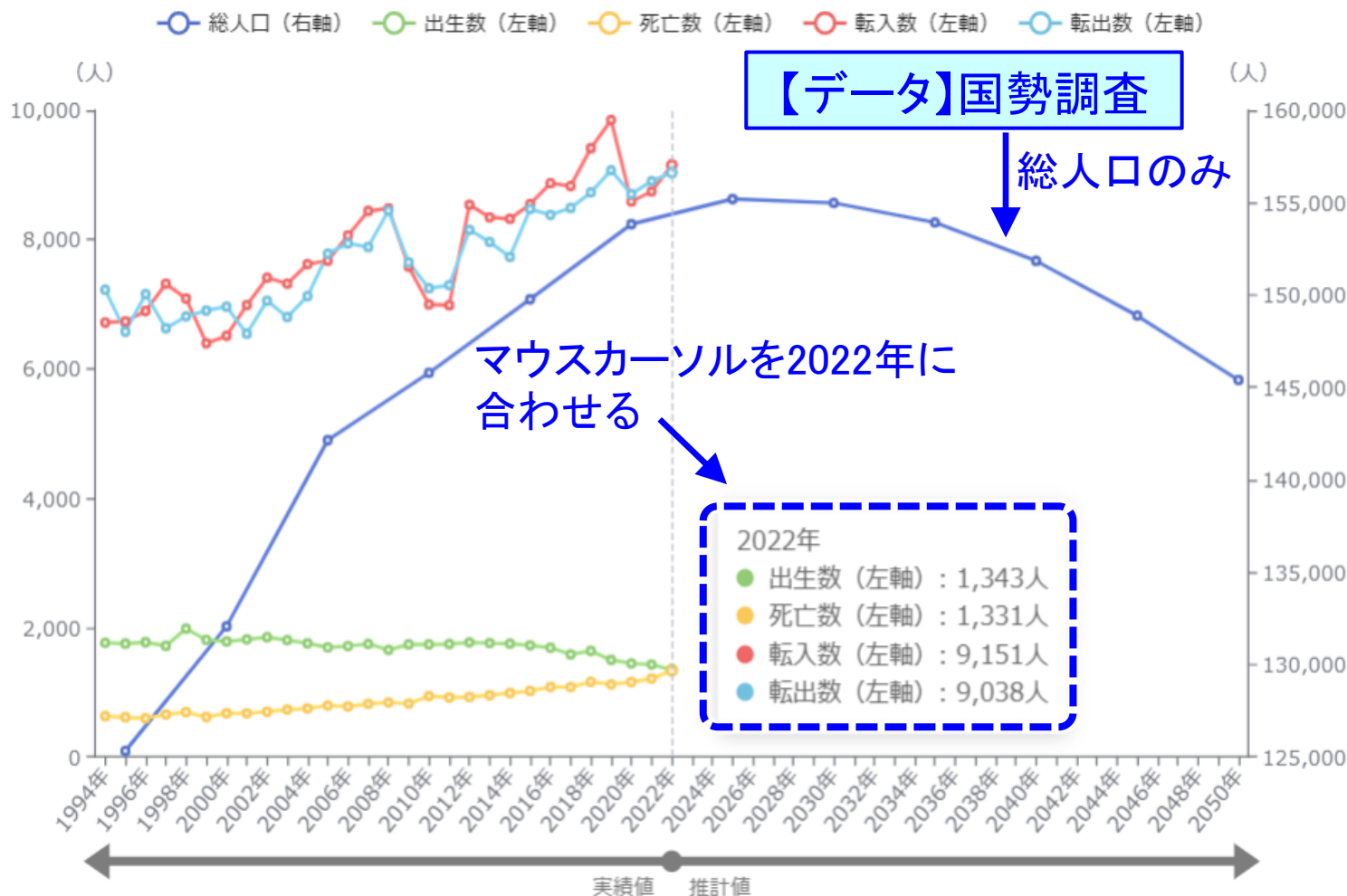
I-3 出生数・死亡数／転入数・転出数

- この図をパワーポイントに貼り付ける(刈谷市の例)

出生数・死亡数／転入数・転出数

愛知県刈谷市

【データ】住民基本台帳人口

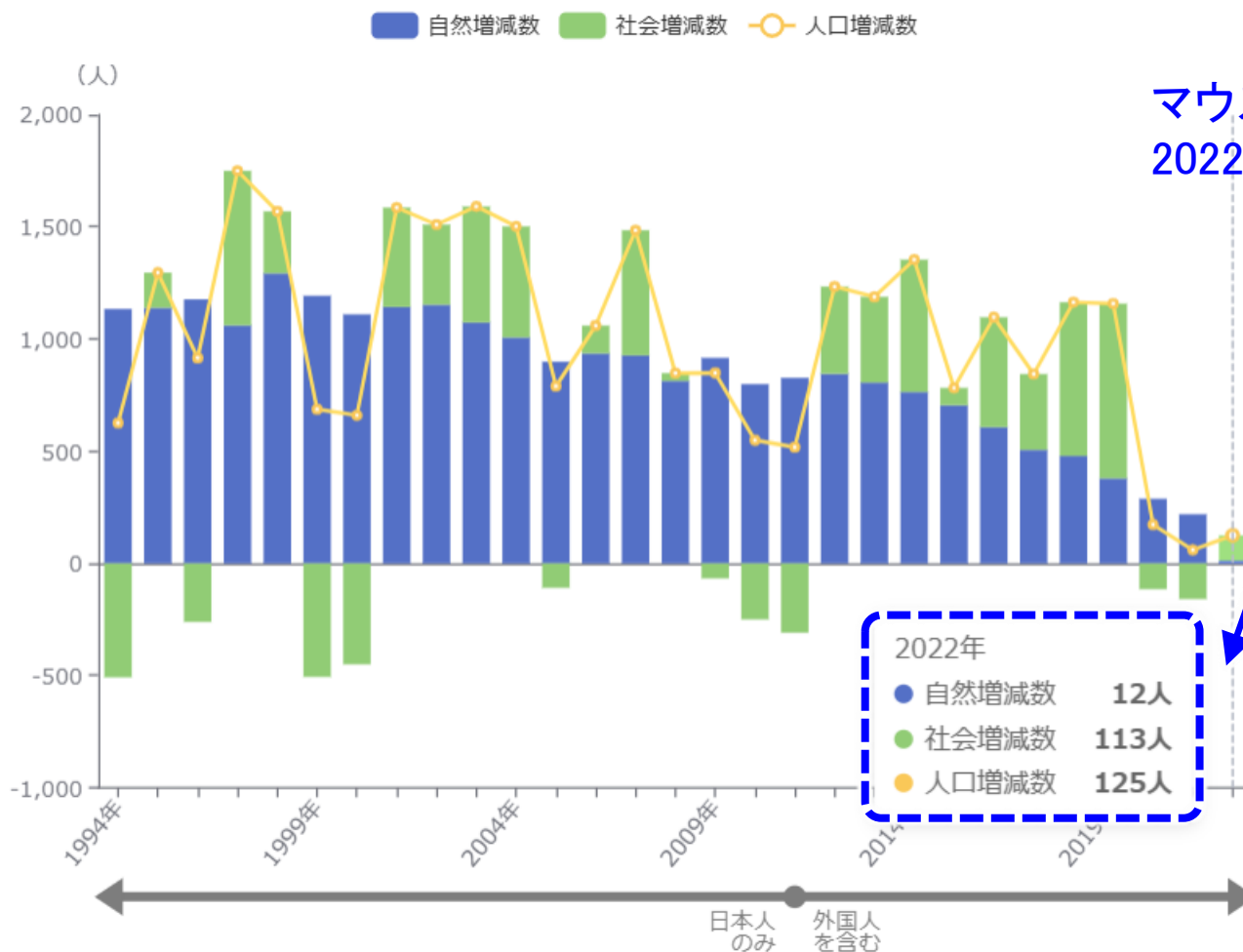


I-4 自然増減・社会増減の推移

- この図をパワーポイントに貼り付ける(刈谷市の例)

自然増減・社会増減の推移(折れ線)
愛知県刈谷市

【データ】住民基本台帳人口



人口動態(2022年)

【データ】住民基本台帳人口

- ・ 図 I -3と図 I -4
の2022年にマウ
スカーソルを合
わせると、人口
動態が表示され
るので、それを
見て表の空欄を
埋める

刈谷市の例→

2022年	人数(人)
出生数・・・A	1, 343
死亡数・・・B	1, 331
自然増減数 C (=A-B)	12
転入数・・・D	9, 151
転出数・・・E	9, 038
社会増減数 F (=D-E)	113
人口増減数 G (=C+F)	125

Ⅱ 産業構造マップ（全産業の構造）

- 左の「分析メニューの選択」から（または、トップページの「マップ選択メニュー」から）「産業構造マップ」ー「全産業の構造」を選択する
- 表示年を指定する
「2021年」を選択する
- 表示する地域を指定する
「市区町村単位」にチェック
- 調べる市を指定する
- 表示内容を指定する
「従業者数（事業所単位）」 ※注意（よく間違える）
⇒ 産業大分類別の構成割合の図が表示される

- 冒頭部分に表示される調べる市の「総従業者数」を次のシートに転記する

産業構成割合	
2021年 従業者数	
刈谷市：	120,322人
愛知県：	3,818,542人
全国：	57,949,915人

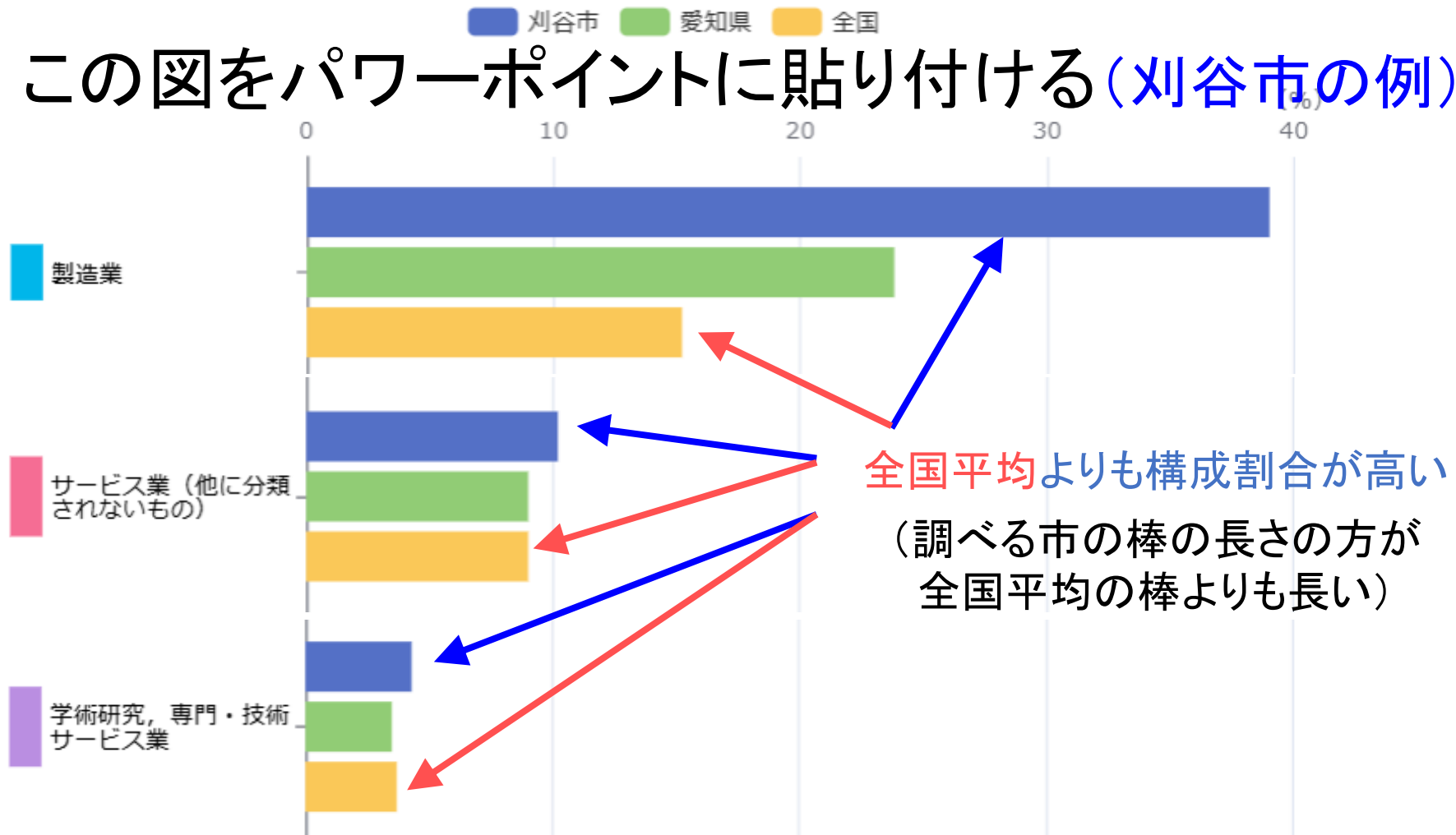
- 産業大分類別の構成割合が「全国平均よりも高い産業」を「3つ」探して、図を次のシートに貼り付ける
(「製造業」を必ず選ぶこと。「鉱業、採石業、砂利採取業」は対象外。全国平均よりも割合の高い産業が4つ以上ある場合、どれを選んでもOK。3つない場合は1つまたは2つでOK。)

Ⅱ－１ 全産業 産業大分類別 構成割合 (従業者数[事業所単位])

【総従業者数】 120,322人

←前頁で確認した数値に書き換える

- この図をパワーポイントに貼り付ける(刈谷市の例)



全産業 産業大分類別 特化係数

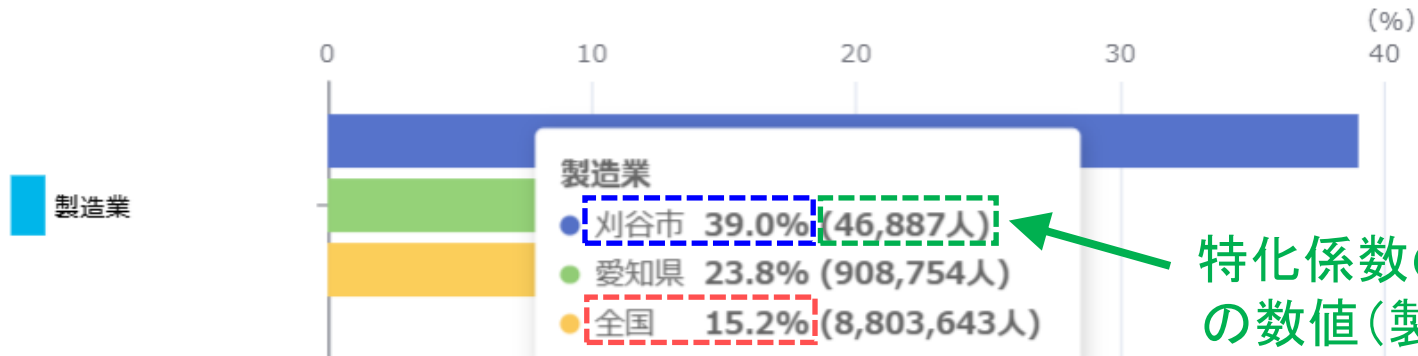
- 前のシートに貼り付けた「3つの産業」それぞれについて、「業種名」と()内に「特化係数」を書く(小数第2位まで。末尾が「0」の場合でも省略しない。)

※特化係数を計算するための数値は次のシートを参照
図が3つない場合は「1つ」または「2つ」でもOK

- ① ○○業種名○○ (特化係数の数値)
↑ 書き換える ↑ 小数第2位まで書く
(第3位を四捨五入)
- ② 刈谷市の例: 製造業 (2. 57)
- ③ ○○業種名○○ (特化係数の数値)

特化係数を計算するための数値(刈谷市の例)

■ 刈谷市 ■ 愛知県 ■ 全国



特化係数の計算とは別に、この数値(製造業の従業者数)を次のシートに転記する



- 「表示分類を指定する」で「大分類別の中分類」を選択してから「A 農業, 林業」を「E 製造業」に変える
⇒ 製造業の産業中分類別の構成割合の図が表示される
- 前のシートで確認した調べる市の「製造業の従業者数」を次のシートに転記する
- 製造業の産業中分類別の構成割合が「全国平均よりも高い産業」を「3つ」探して、図を次のシートに貼り付ける

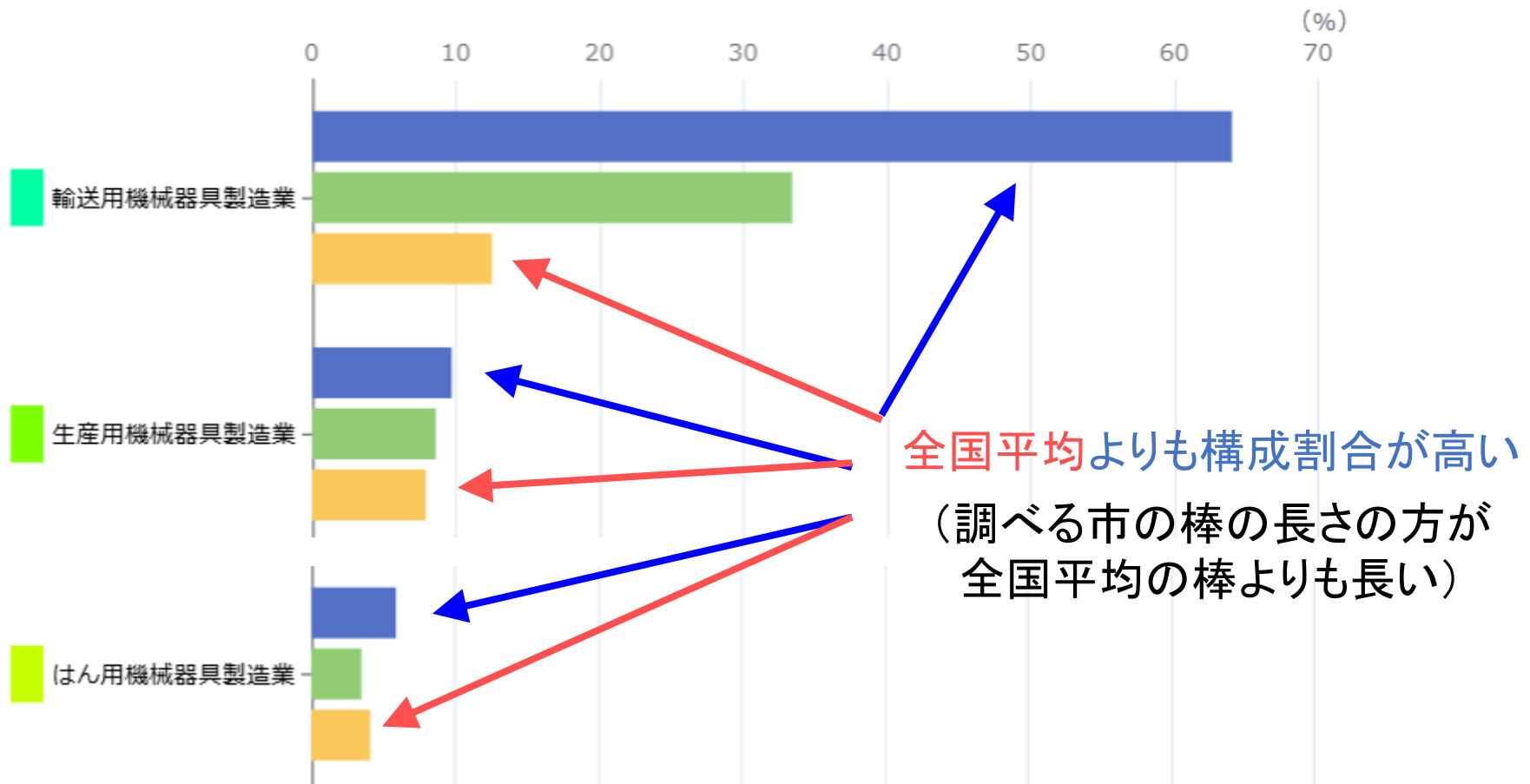
(全国平均よりも割合の高い産業が4つ以上ある場合、どれを選んでもOK。3つない場合は1つまたは2つでOK。)

Ⅱ－２ 製造業 産業中分類別 構成割合 (従業者数[事業所単位])

【製造業従業者数】 46, 887人

←前頁で確認した数値に書き換える

刈谷市 愛知県 全国



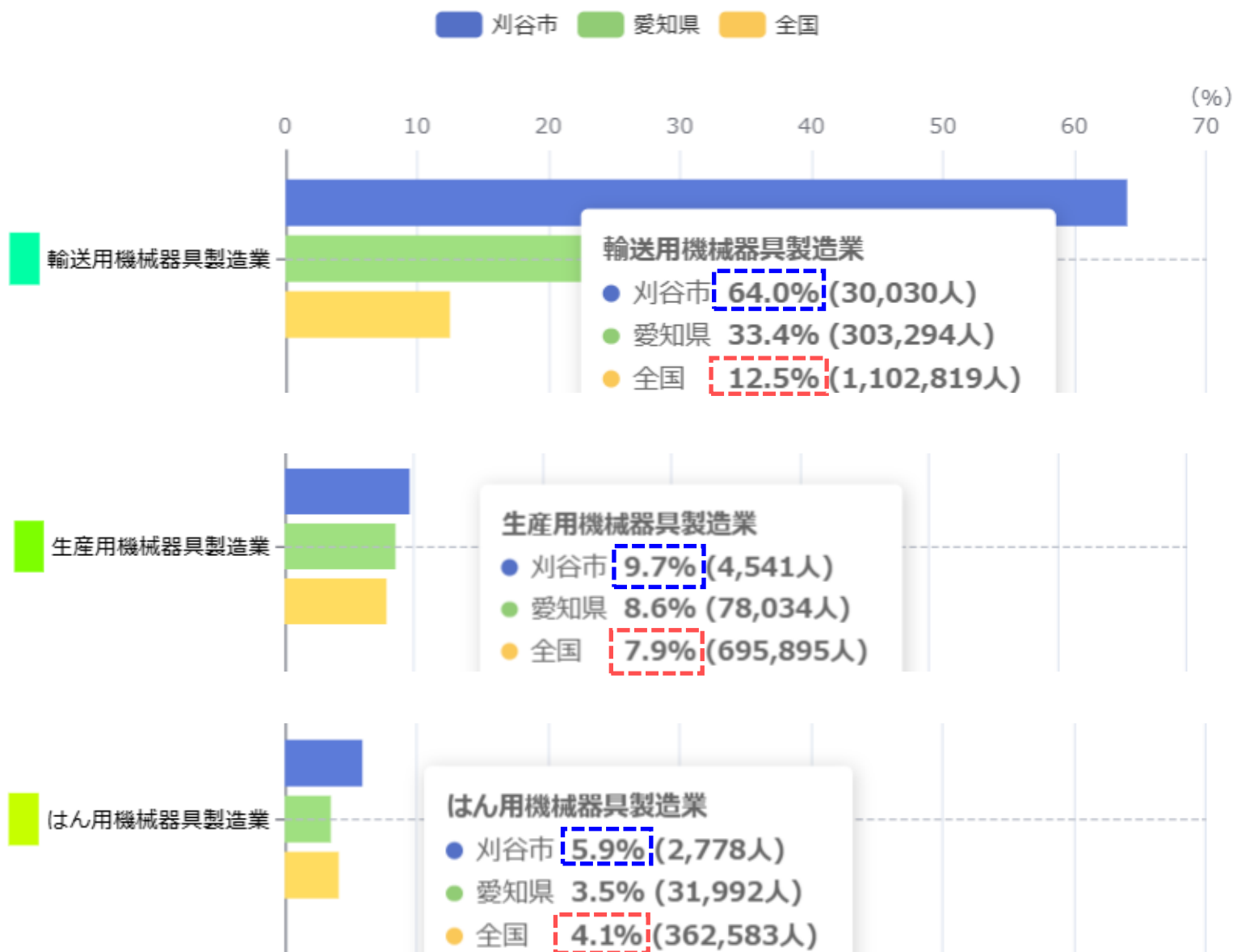
製造業 産業中分類別 特化係数

- 前のシートに貼り付けた「3つの産業」それぞれについて、「業種名」と()内に「特化係数」を書く(小数第2位まで。末尾が「0」の場合でも省略しない。)

※特化係数を計算するための数値は次のシートを参照
図が3つない場合は「1つ」または「2つ」でもOK

- ① ○○業種名○○ (特化係数の数値)
↑ 書き換える ↑ 小数第2位まで書く
(第3位を四捨五入)
- ② 刈谷市の例: 輸送用機械器具製造業 (5. 12)
- ③ ○○業種名○○ (特化係数の数値)

特化係数を計算するための数値(刈谷市の例)



Ⅲ 調べた市の特徴

- 作成した図、計算した特化係数をもとにして、調べた市の「特徴を3点」挙げる

Ⅲ ○○○市の特徴
(3点)

① ○○○○○

② ○○○○○

③ ○○○○○

◆要チェック

- ✓ 人口の構成や動きに特徴はないか？
- ✓ 従業者規模の大きな事業所(大企業の工場など)が立地していないか？
- ✓ 地場産業がないか？

- 最後のシートに特徴3点を補足説明するためのわかりやすい「写真・図表を追加」する(最低1つ)

※図表の場合はRESAS以外のものを使用すること

【例】Ⅲ 刈谷市の特徴(3つ)

- ① 日本の人口が減少する中、2022年まで一貫して自然人口は増加しているが、近年、増加数は小さくなりつつある
- ② 産業大分類別にみると、製造業に特化している(特化係数2.57)
- ③ 製造業の産業中分類別にみると、輸送用機械器具製造業に特化している(特化係数5.12)

【注意点】 減点の対象(例)

- ファイル名や表紙が指定した内容と異なっている
- 図表が指定したものと異なっている
- 人口・構成比・人口動態の数値が間違っている(or記載なし)
- 「総従業者数」「製造業の従業者数」の数値が間違っている(or記載なし)
- 構成割合の図・特化係数
 - ✓ 全国平均よりも構成割合の低い業種を選んでいる
 - ✓ 割合の高い産業が3つあるのに3つ書いていない
 - ✓ 特化係数の数値が間違っている
 - ✓ 業種名が間違っている(誤字・脱字・衍字を含む)
- 調べた市の特徴
 - ✓ 記載内容が間違っている
 - ✓ 補足説明の写真・図がない(or不適切)

【予告】 第9回 プレゼンテーション

- 提出したパワーポイントを教壇で説明
通し番号順に、指名された人が1人3分程度で
- 次の点は必ず説明する
 - ✓ 市の位置(2枚目の位置図)
 - ✓ 総人口
 - ✓ 総従業者数(産業大分類の図)
 - ✓ 製造業 産業中分類の図
(全国平均よりも割合が高い3つの産業を説明する)
 - ✓ 調べた市の特徴3つ
(根拠となる特化係数や図などを必ず説明する)